

図23 歩行訓練対象者の疾患

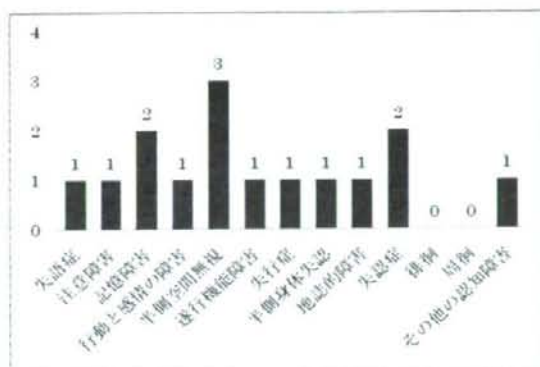


図24 歩行訓練対象者の症状
(高次脳機能障害)

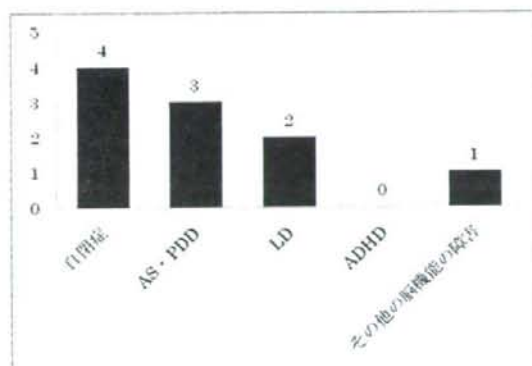


図25 歩行訓練対象者の症状
(知的障害・発達障害)

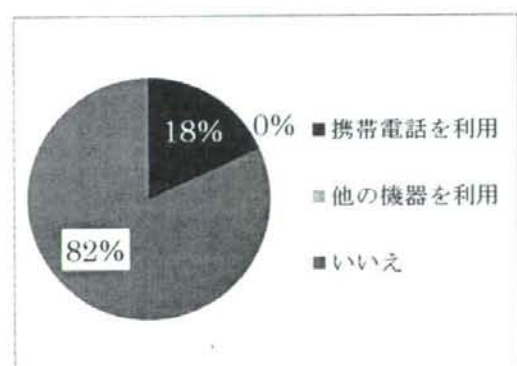


図26 歩行訓練での携帯電話使用
(視覚障害者以外を対象)

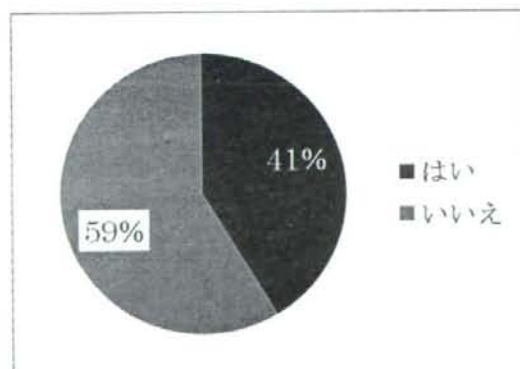


図27 移動支援プロジェクトを知っているか
(N=58)

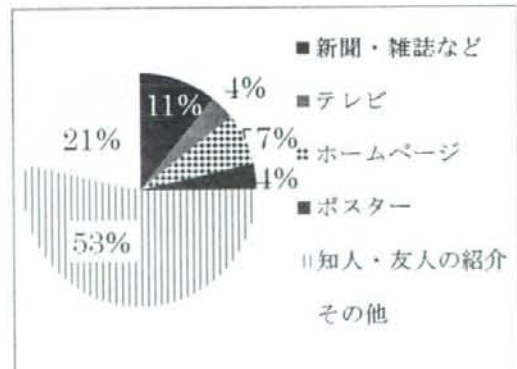


図28 移動支援プロジェクトをどこで
知ったか (N=28)

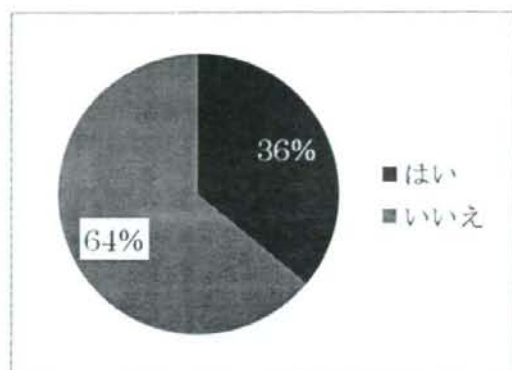


図29 移動支援プロジェクトの参加経験はあるか (N=25)

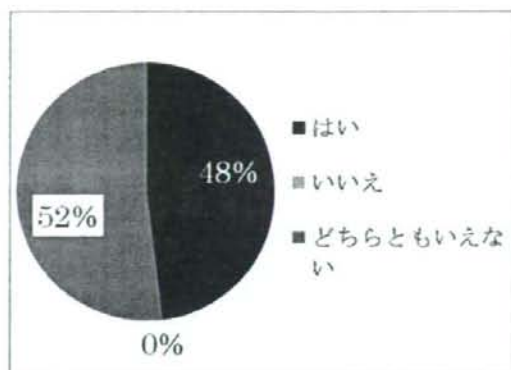


図30 移動支援プロジェクトは有効だと思うか (N=25)

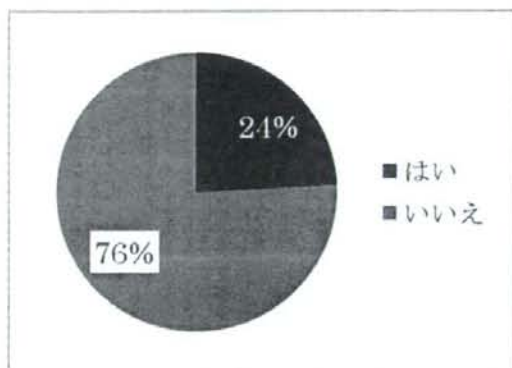


図31 障害者ITバリアフリープロジェクトを知っているか (N=58)

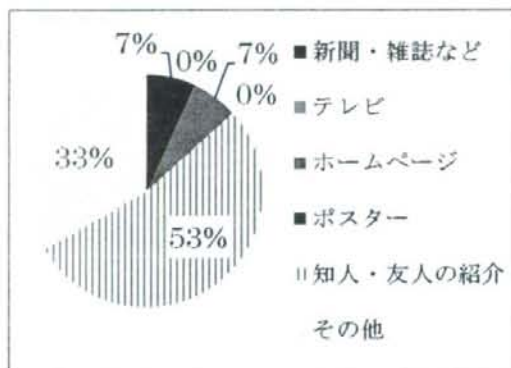


図32 障害者ITバリアフリープロジェクトをどこで知ったか (N=15)

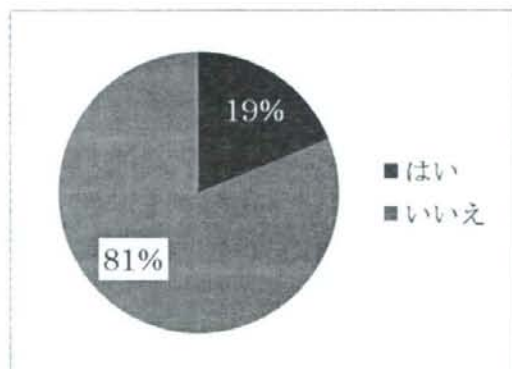


図33 障害者ITバリアフリープロジェクトの参加経験はあるか (N=16)

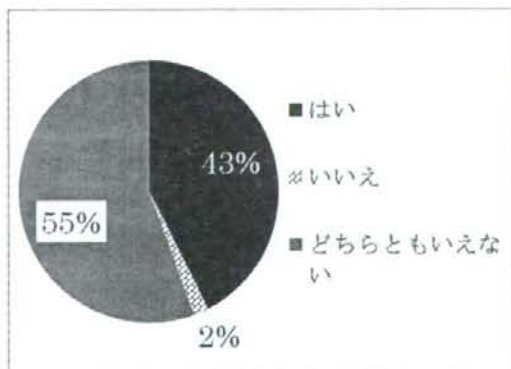


図34 障害者ITバリアフリープロジェクトは有効だと思うか (N=54)

高次脳機能障害のある当事者、ご家族に対するアンケート調査の結果を以下の図35から図63に示す。

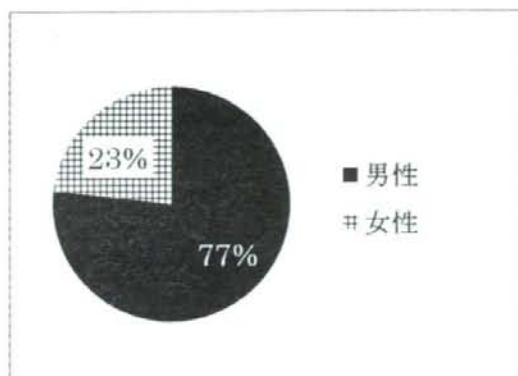


図35 回答者の性別 (N=293)

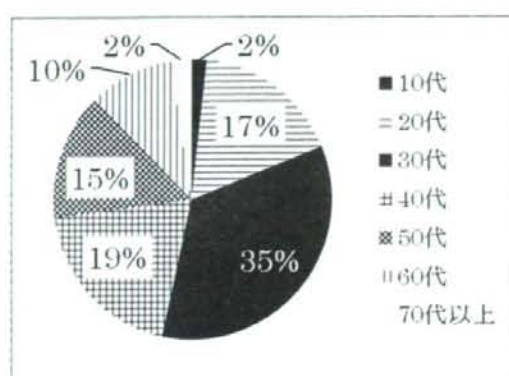


図36 回答者の年齢 (N=292)

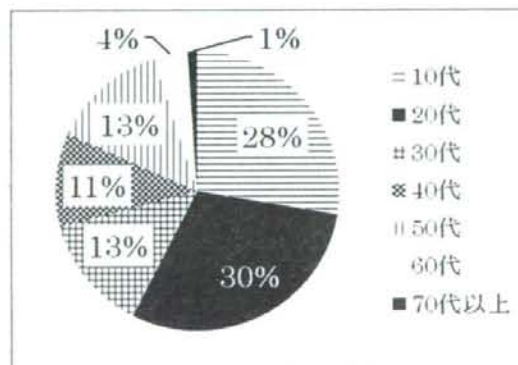


図37 受傷（発症）時期 (N=285)

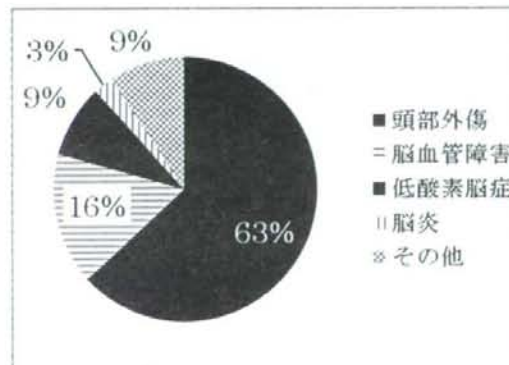


図38 原因疾患 (N=301)

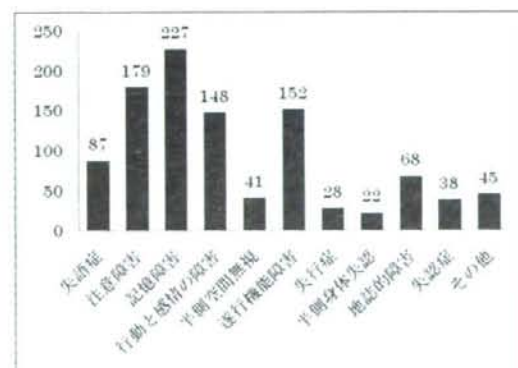


図39 高次脳機能障害の種類（複数回答可）

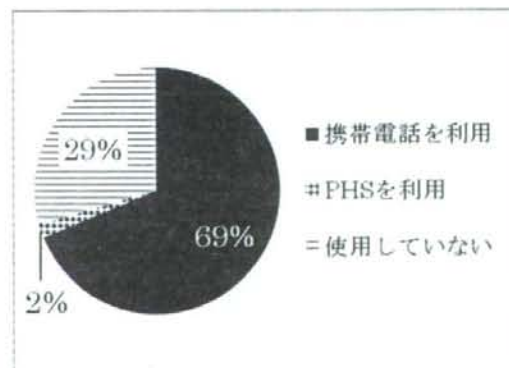


図40 携帯電話・PHS使用者 (N=289)

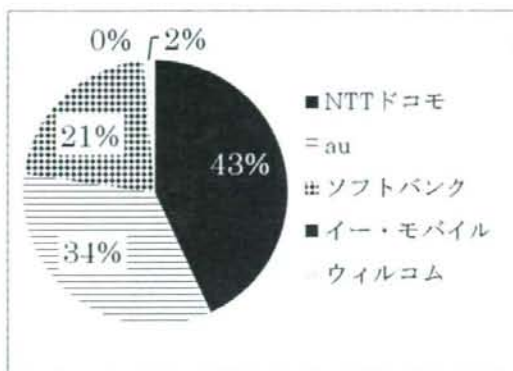


図41 使用している携帯電話・PHS会社 (N=207)

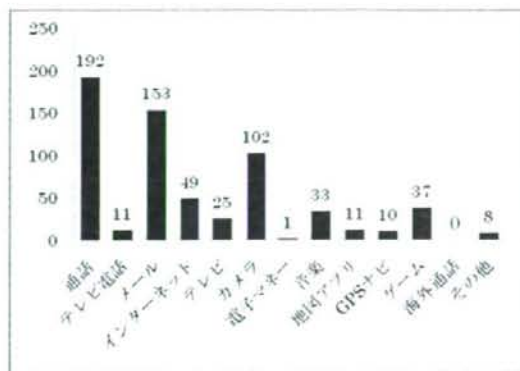


図42 携帯電話で使用している機能

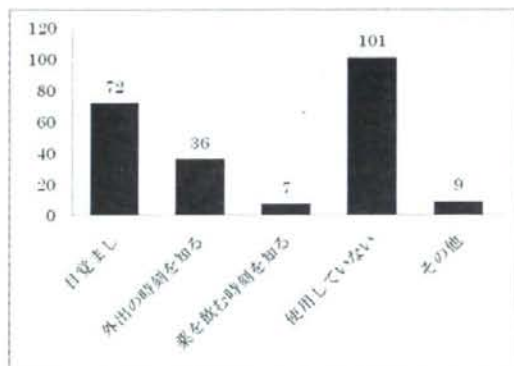


図43 アラーム機能の使用場面

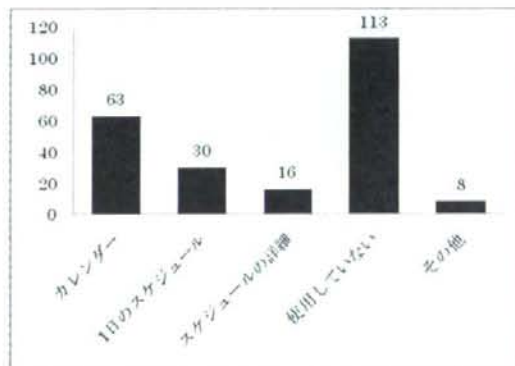


図44 スケジュール機能の使用場面

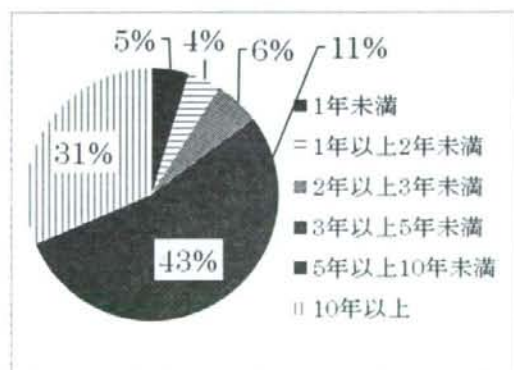


図45 携帯電話・PHSの使用年数 (N=188)

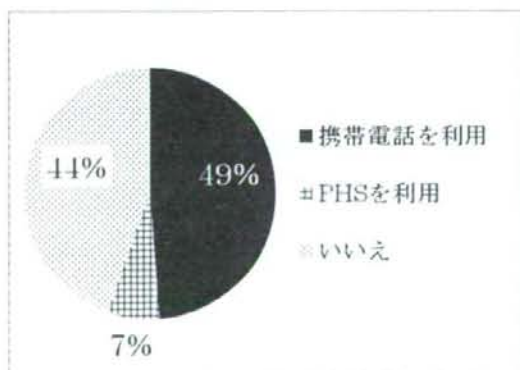


図46 受傷(発症)前の使用 (N=272)

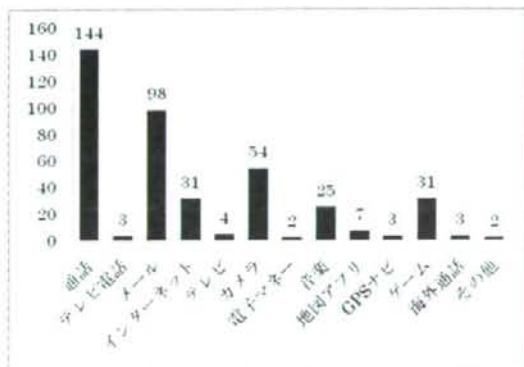


図47 受傷（発症）前に使用していた機能

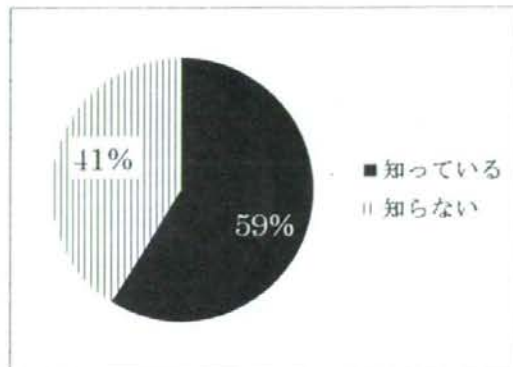


図48 携帯電話の文字の大きさを変更
られることを知っているか (N=168)

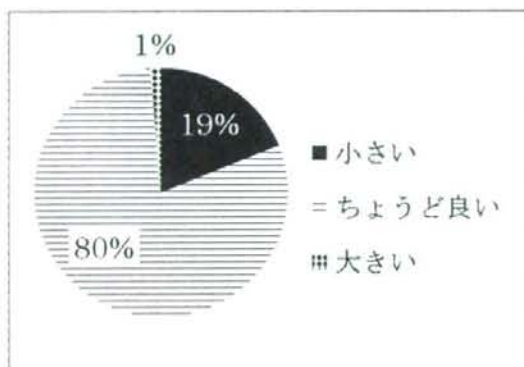


図49 携帯電話の文字の大きさ (N=154)

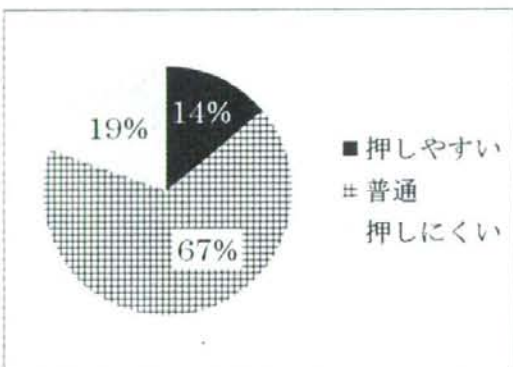


図50 ボタンの押しやすさ (N=159)

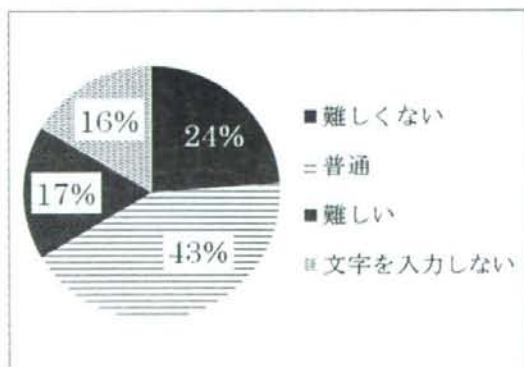


図51 文字の入力方式の難しさ (N=164)

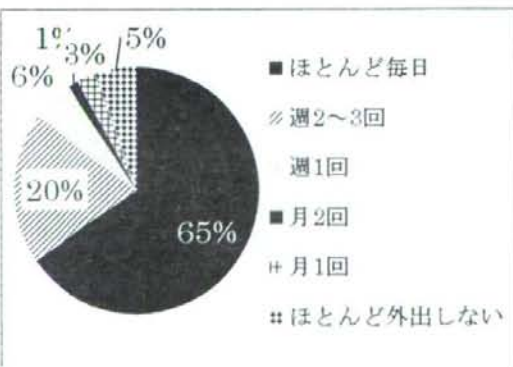


図52 外出の頻度 (N=286)

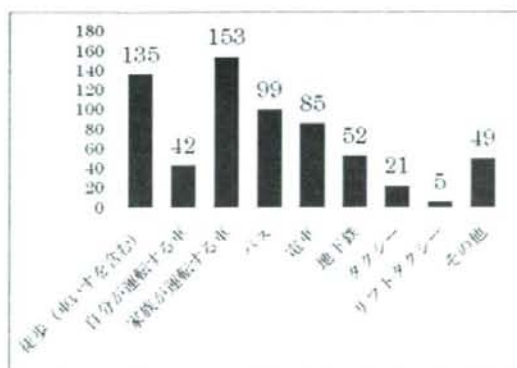


図53 主な外出手段

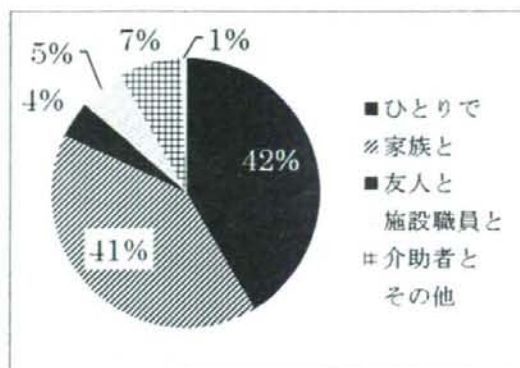


図54 誰と外出することが多いか (N=390)

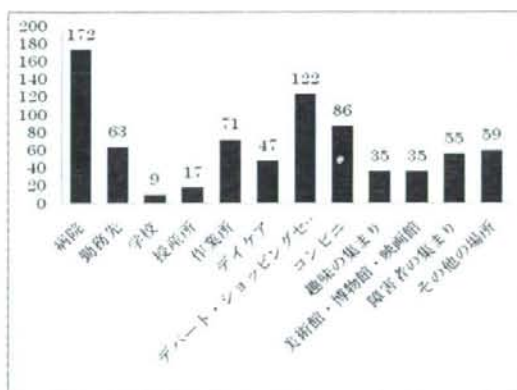


図55 主な外出先

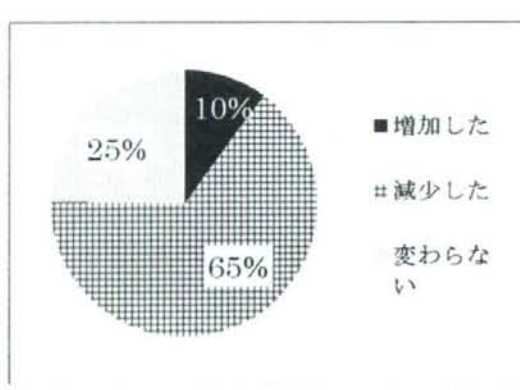


図56 受傷(発症)後の外出頻度 (N=279)

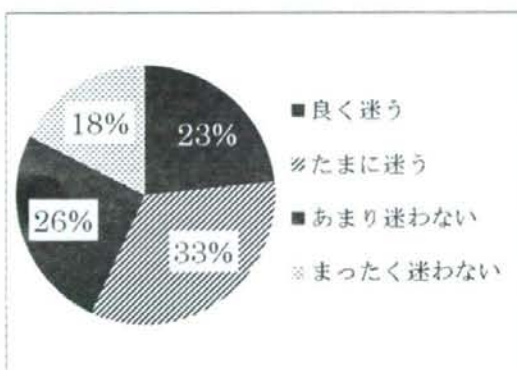


図57 道に迷うことはあるか (N=257)

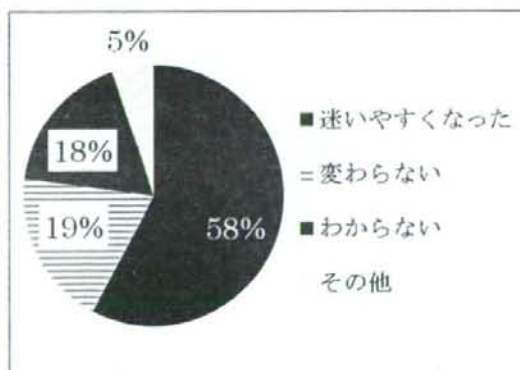


図58 受傷(発症)前との比較 (N=232)

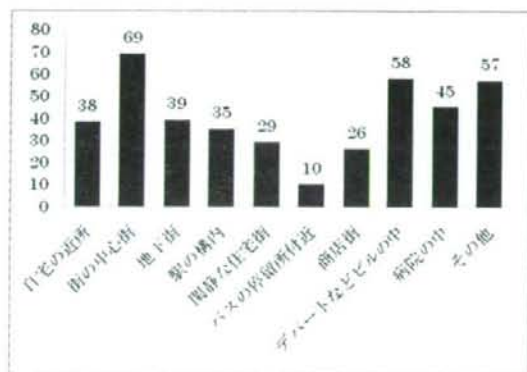


図59 迷ったことのある場所

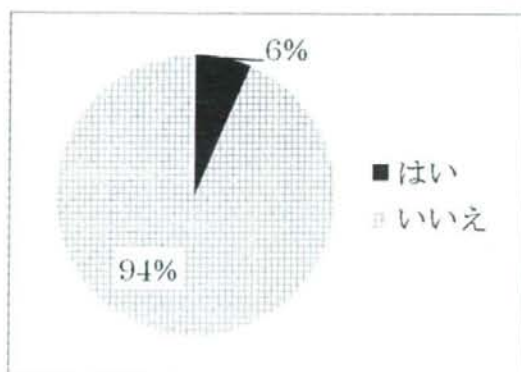


図60 移動支援プロジェクトを知っているか？
(N=278)

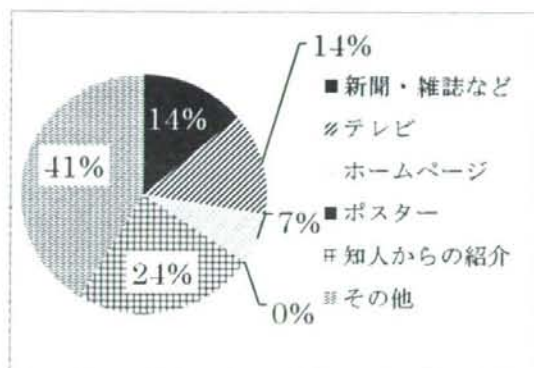


図61 移動支援プロジェクトをどこで知ったか？
(N=29)

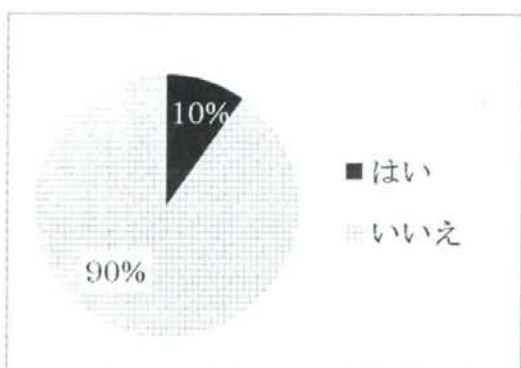


図62 移動支援プロジェクトに参加したことはあるか？ (N=41)

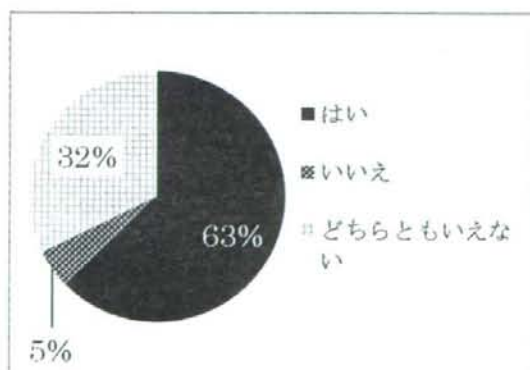


図63 移動支援プロジェクトは有効だと思うか？ (N=266)

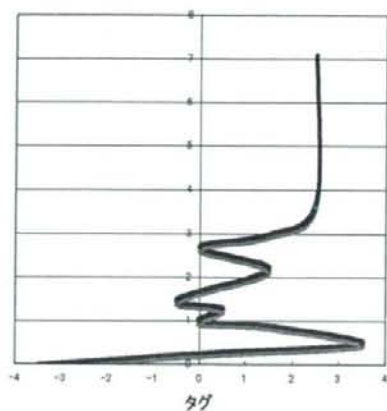
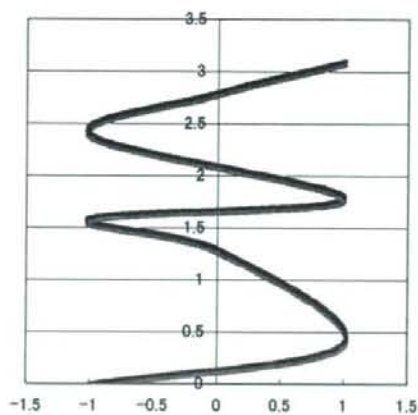


図64 タグ1読み取り後の視線の左右の動きの例 図65 タグ2群の注視の推移の例
(被験者1、タグ1が左側、タグの間隔が4[m]の時)

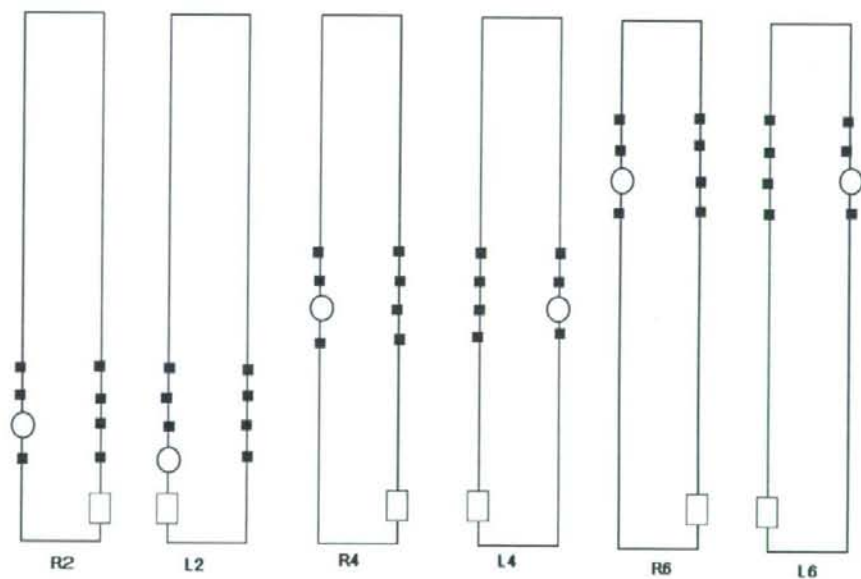


図66 タグ2群から選択したタグの位置 (被験者1、左右で2m、4m、6mの6ケース)

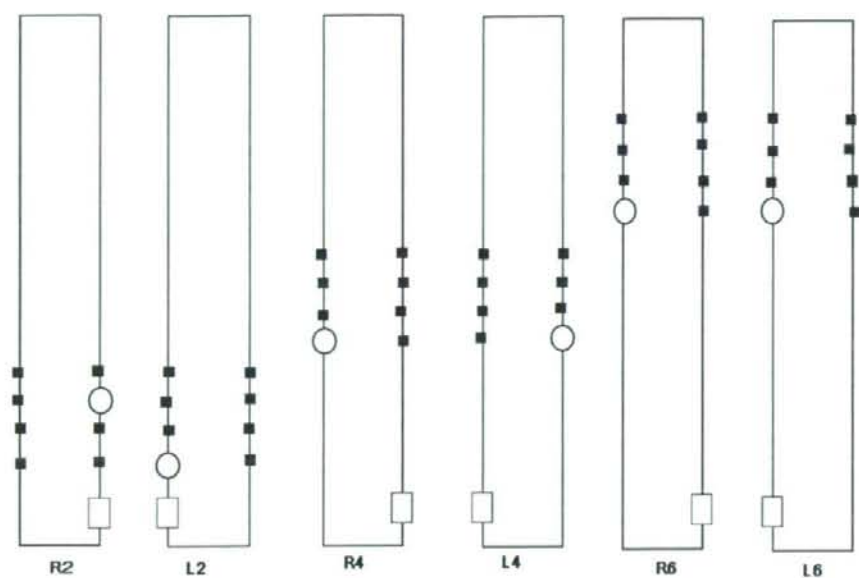


図67 タグ2群から選択したタグの位置 (被験者2、左右で2m、4m、6mの6ケース)

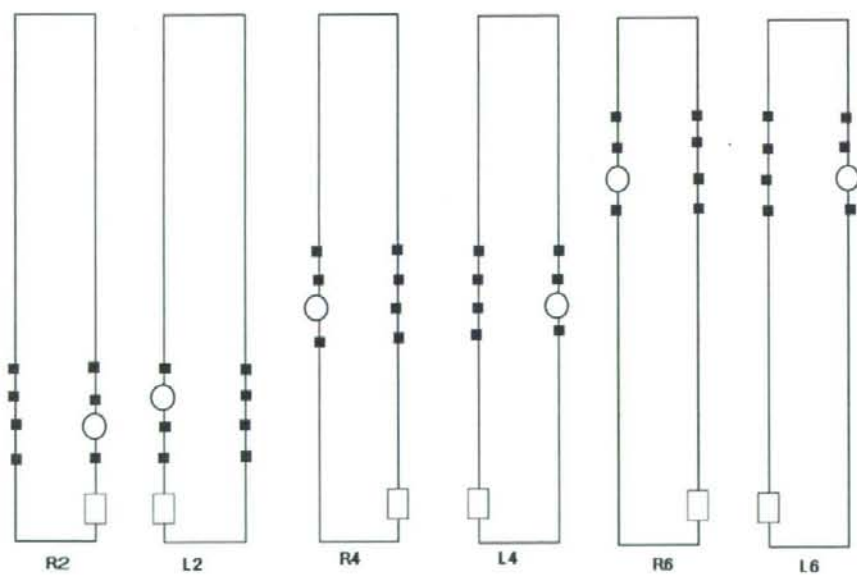


図68 タグ2群から選択したタグの位置 (被験者3、左右で2m、4m、6mの6ケース)

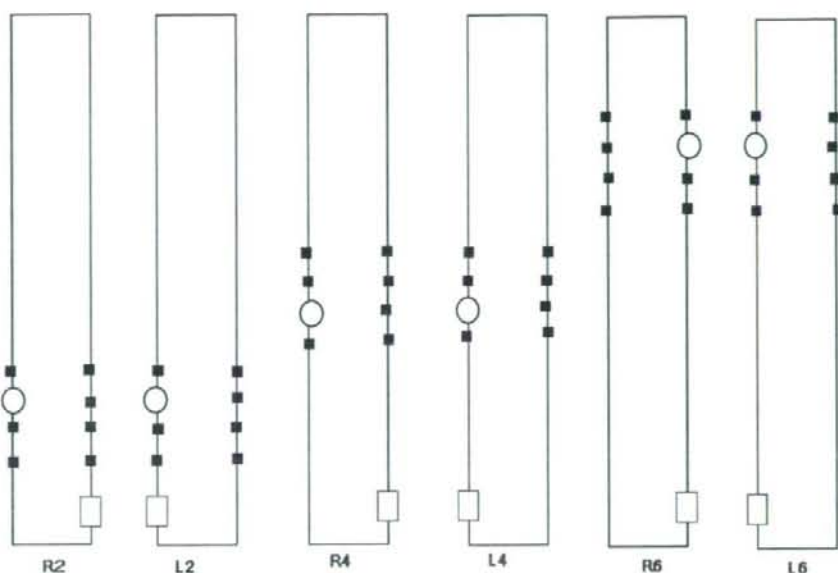


図69 タグ2群から選択したタグの位置 (被験者4、左右で2m、4m、6mの6ケース)

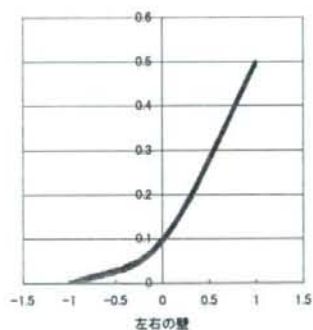


図70 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者5、タグ1が右側、タグの間隔が2[m]の時)

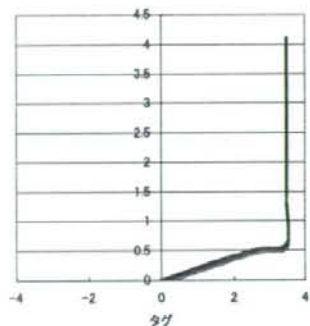


図71 タグ2群の注視の推移
全くきょろきょろせずすぐにタグを決定した

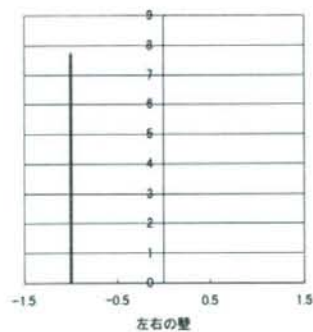


図72 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者5、タグ1が左側、タグの間隔が2[m]の時)

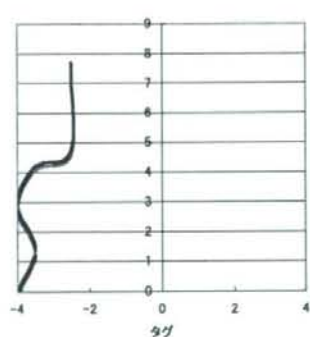


図73 タグ2群の注視の推移
タグ1を読み取ったあと、左右を間違えて進行方向の逆に進んでしまった。目に入ったタグを読み取るようで、右側の壁は一切見なかった。

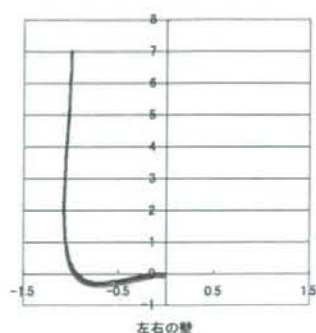


図74 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者5、タグ1が右側、タグの間隔が4[m]の時)

右側の壁は全く見ていない。同じ側の壁に貼ってあるタグは見えにくいと予想される。

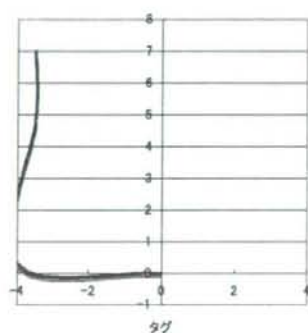


図75 タグ2群の注視の推移

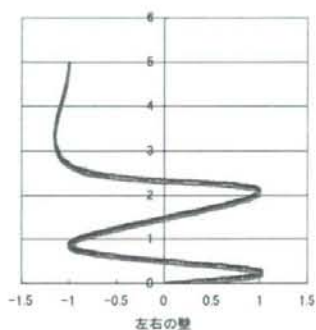


図76 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者5、タグ1が左側、タグの間隔が4[m]の時)

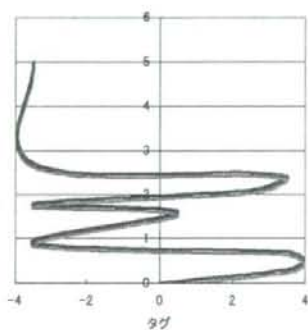


図77 タグ2群の注視の推移

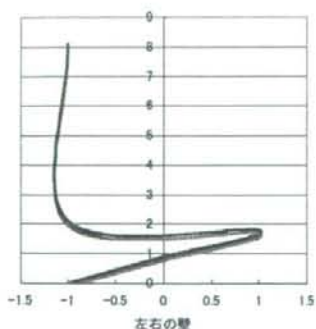


図78 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者5、タグ1が左側、タグの間隔が6[m]の時)

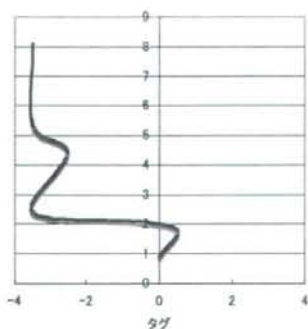


図79 タグ2群の注視の推移

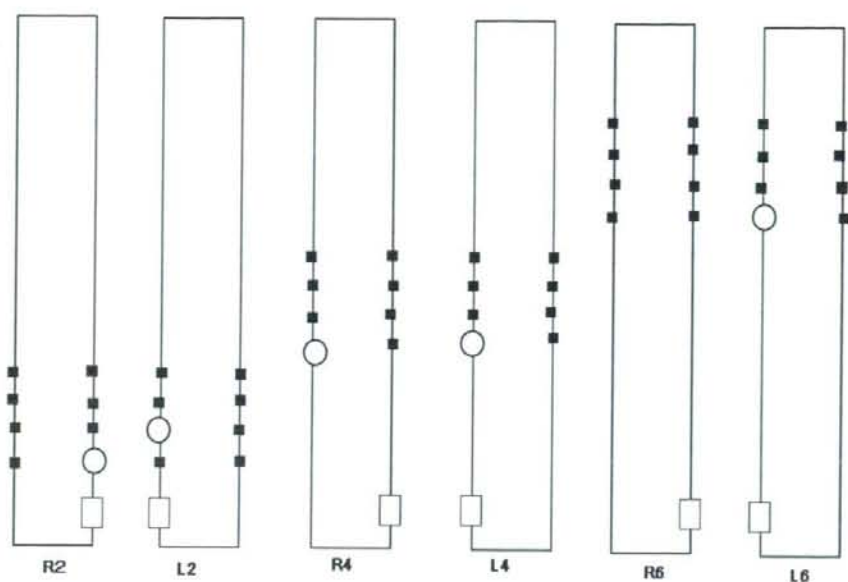


図80 タグ2群から選択したタグの位置 (被験者5、左右で2m、4m、6mの5ケース)

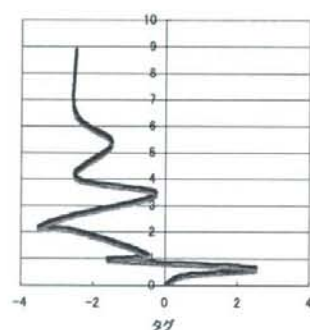
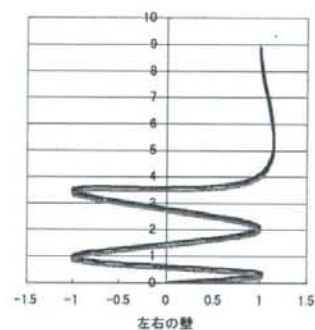


図81 タグ1読み取り後の視線の左右の動き

図82 タグ2群の注視の推移

(被験者6、タグ1が右側、タグの間隔が2[m]の時) タグ群の前に立ってから左右にきょろきょろする傾向

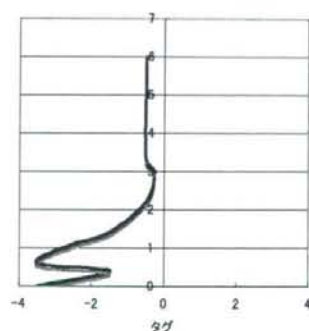
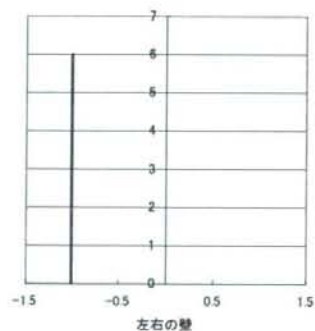


図83 タグ1読み取り後の視線の左右の動き

図84 タグ2群の注視の推移

(被験者6、タグ1が左側、タグの間隔が2[m]の時)

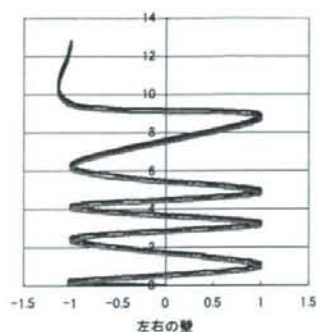


図85 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者6、タグ1が右側、タグの間隔が4[m]の時)
タグ群の前に来てから左右の壁できょろきょろと迷っていた。

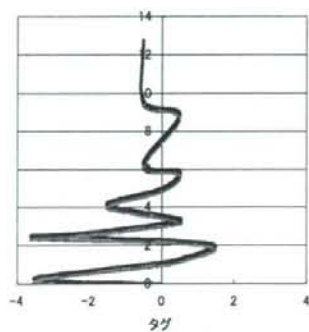


図86 タグ2群の注視の推移の例

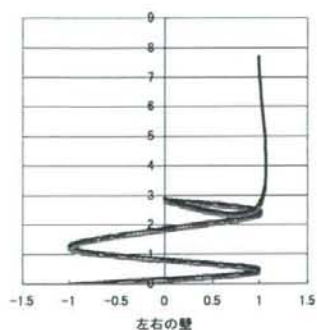


図87 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者6、タグ1が左側、タグの間隔が4[m]の時)

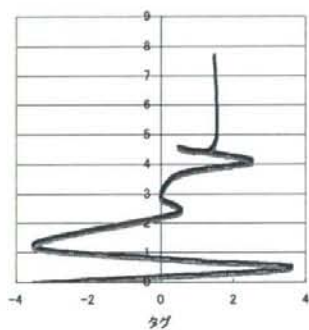


図88 タグ2群の注視の推移

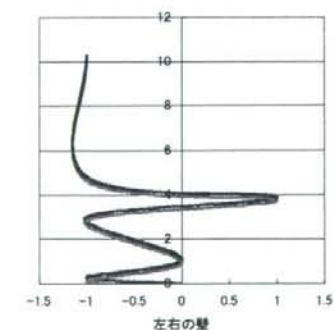


図89 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者6、タグ1が右側、タグの間隔が6[m]の時)

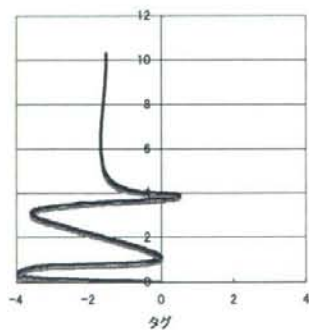


図90 タグ2群の注視の推移

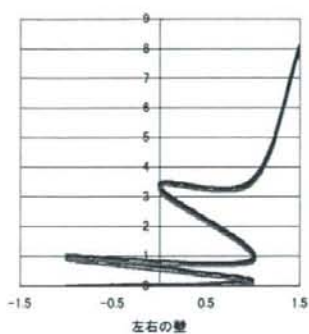


図91 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者6、タグ1が左側、タグの間隔が6[m]の時)

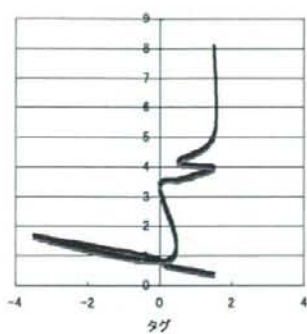


図92 タグ2群の注視の推移

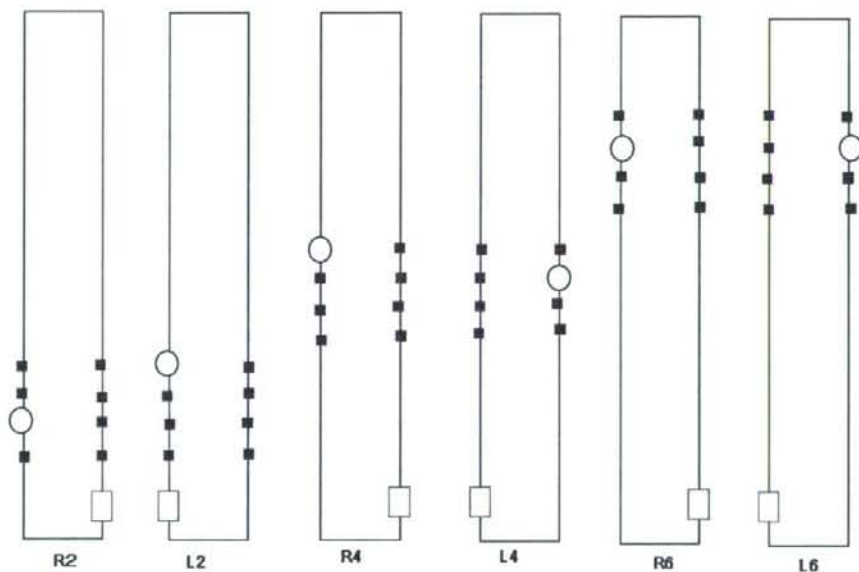


図93 タグ2群から選択したタグの位置 (被験者6、左右で2m、4m、6mの6ケース)

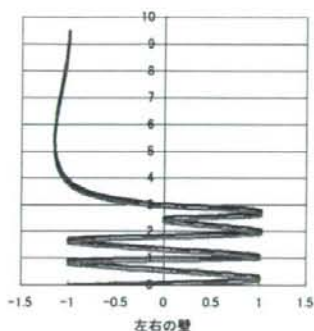


図94 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者7、タグ1が右側、タグの間隔が2[m]の時)

経過時間3秒程で急に自分の後ろ(左側の壁)にあるタグに気づいて読み取った。

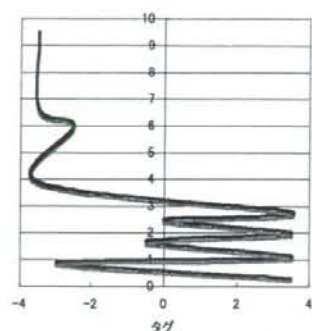


図95 タグ2群の注視の推移

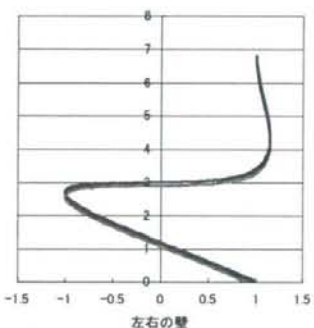


図96 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者7、タグ1が左側、タグの間隔が2[m]の時)

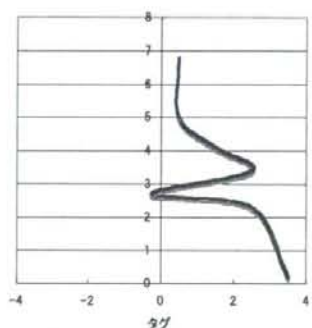


図97 タグ2群の注視の推移

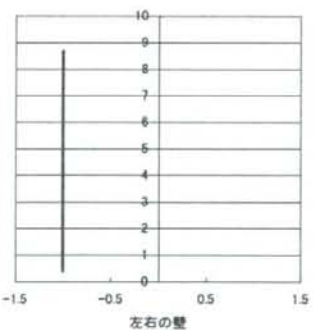


図98 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者7、タグ1が右側、タグの間隔が4[m]の時)
右側の壁は一切見ていない。

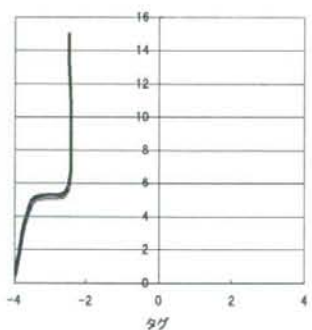


図99 タグ2群の注視の推移

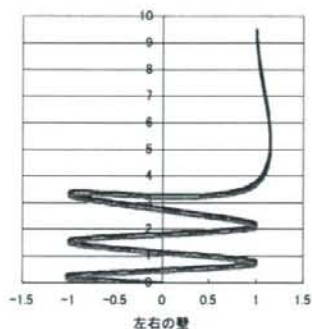


図100 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者7、タグ1が左側、タグの間隔が4[m]の時)

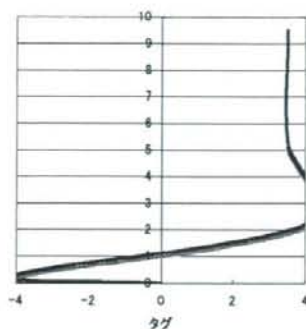


図101 タグ2群の注視の推移

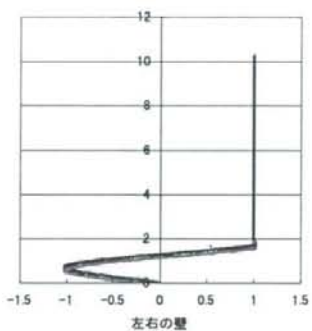


図102 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者7、タグ1が右側、タグの間隔が6[m]の時)

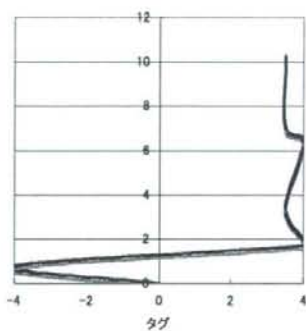


図103 タグ2群の注視の推移

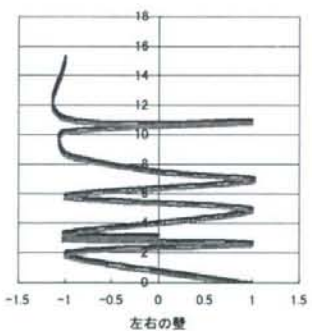


図104 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者7、タグ1が左側、タグの間隔が6[m]の時)

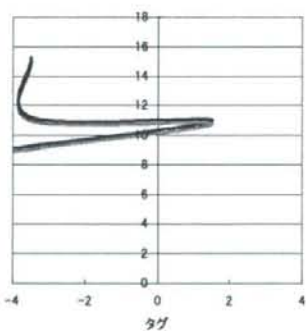


図105 タグ2群の注視の推移

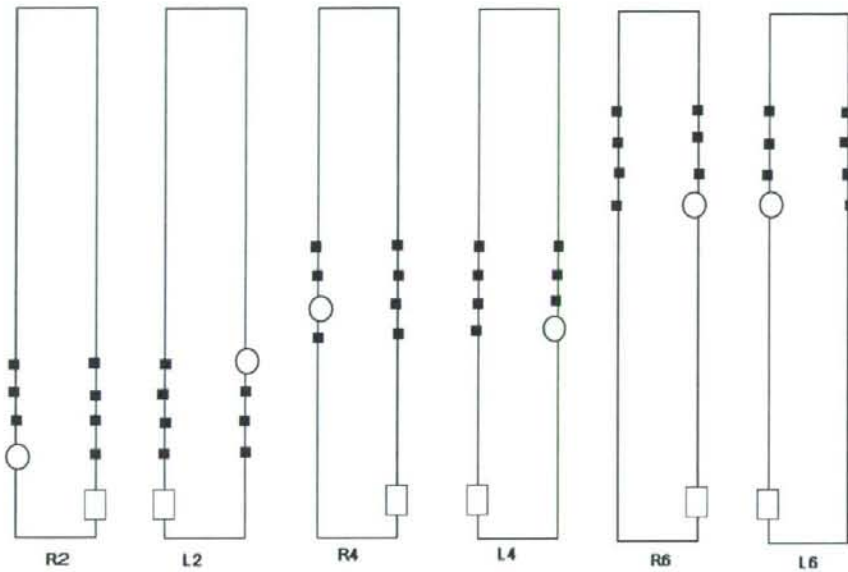


図106 タグ2群から選択したタグの位置 (被験者7、左右で2m、4m、6mの6ケース)

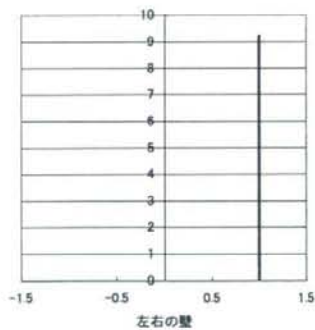


図107 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者8、タグ1が右側、タグの間隔が2[m]の時)

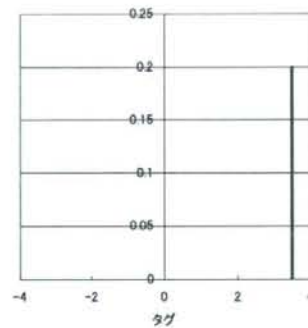


図108 タグ2群の注視の推移

1つ目のタグと同じ側の1番近いタグを選択した。他のタグは一切見ていない。

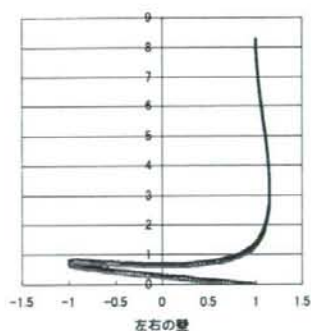


図109 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者8、タグ1が左側、タグの間隔が2[m]の時)

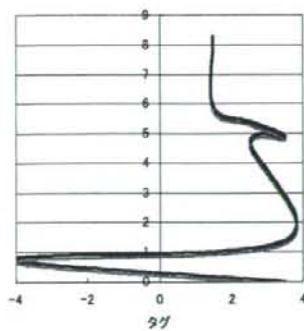


図110 タグ2群の注視の推移

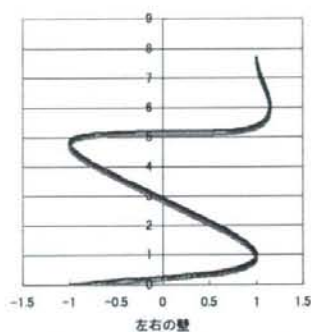


図111 タグ1読み取り後の視線の左右の動き

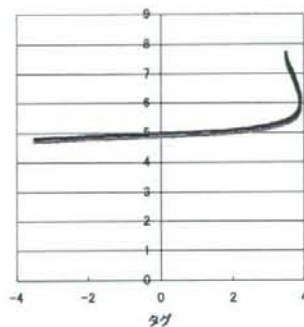


図112 タグ2群の注視の推移

(被験者8、タグ1が右側、タグの間隔が4[m]の時) 経過時間5秒になるまで左右の壁をきよろきよろしていた (この回から眼鏡を取ってもらったためだと思われる)

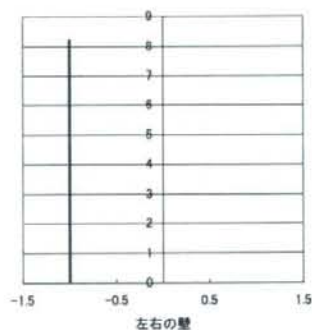


図113 タグ1読み取り後の視線の左右の動き

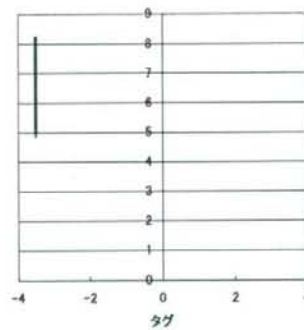


図114 タグ2群の注視の推移

(被験者8、タグ1が左側、タグの間隔が4[m]の時)

経過時間が5秒となるまで左側のタグよりも手前の壁の部分に視線があった。

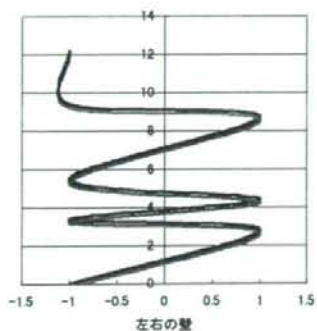


図115 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者8、タグ1が右側、タグの間隔が6[m]の時)

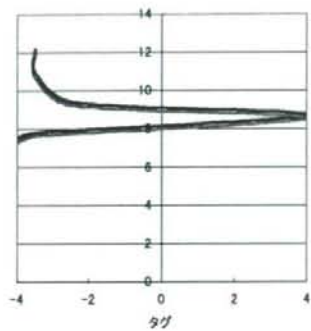


図116 タグ2群の注視の推移

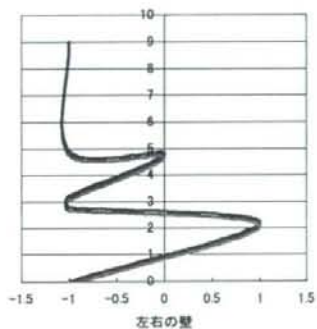


図117 タグ1読み取り後の視線の左右の動き
(被験者8、タグ1が左側、タグの間隔が6[m]の時)

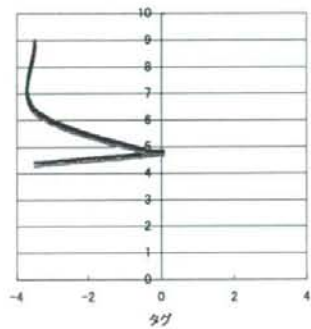


図118 タグ2群の注視の推移

(経過時間7秒になるまで左右壁をきょろきょろしていた)

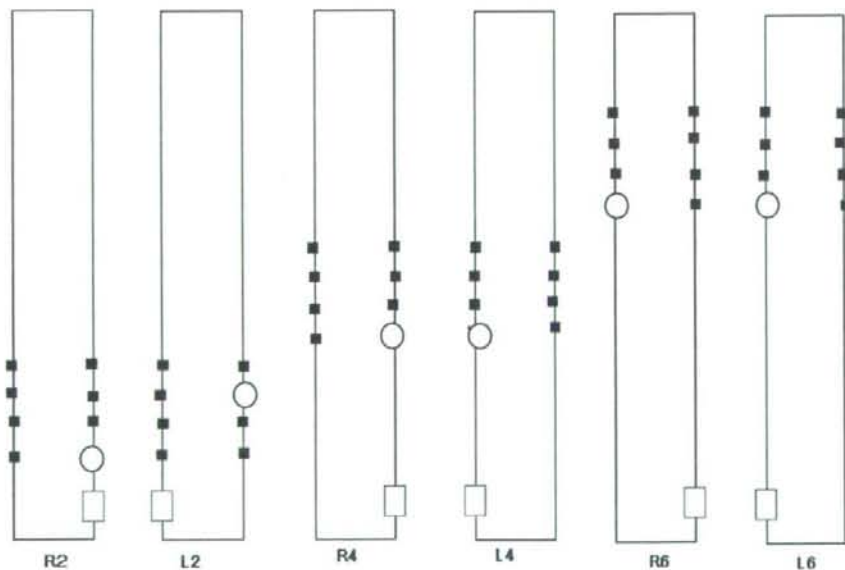


図119 タグ2群から選択したタグの位置 (被験者8、左右で2m、4m、6mの6ケース)

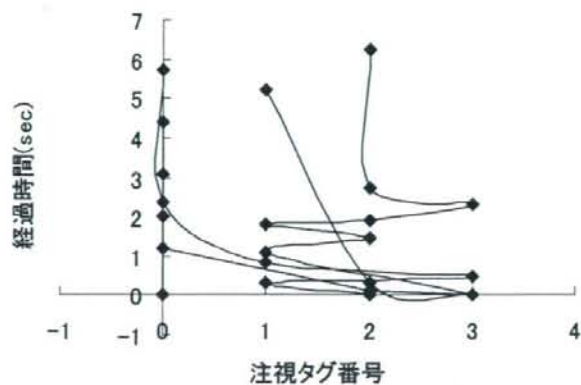


図120 Aエリアにおける被験者5人の視線推移 (健常状態)

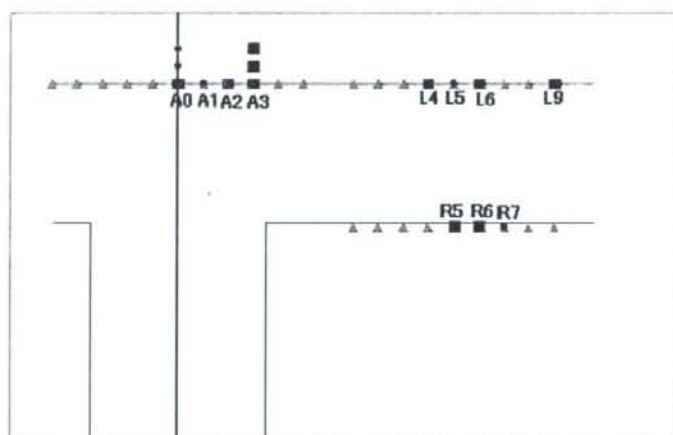


図121 被験者5人が最初に見たタグ■と最終的に選択したタグ● (健常状態)

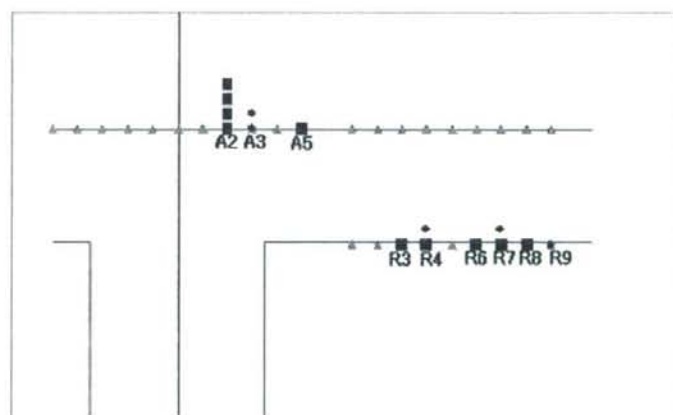


図122 被験者5人が最初に見たタグ■と最終的に選択したタグ● (半側空間無視のシミュレーション状態)